

# 第 22 回 木津川上流河川環境研究会 議事要旨(案)

## 【開催概要】

開催日時： 平成 25 年 2 月 25 日 (月) 15 : 00~17 : 00

開催場所： ホテルセントノーム 京都 2 階【貴船】

## 【出席者】

委員： 6 名

事務局： 木津川上流河川事務所 5 名

オブザーバー： 水資源機構関西支社 3 名、木津川ダム総合管理所 2 名

## 【議事次第】

1. 開 会
2. 挨拶
3. 議 事
  - (1) 研究会等の開催結果の確認
  - (2) 堰・魚道 連続性再生に関する本年度検討結果
  - (3) 上野遊水地 横断連続性再生に関する本年度検討結果
  - (4) 河道内樹林管理検討に関する本年度検討結果
  - (5) 河川環境再生目標の検討に関する本年度検討結果
  - (6) 平成 24 年度 フラッシュ放流・土砂還元について
  - (7) その他
4. 閉 会

## 【配付資料】

- ◆議事次第 / 席次表 / 木津川上流河川環境研究会 設立趣意・規約
- ◆資料 1 : 研究会等の開催結果/研究会等での指摘対応/議事要旨
- ◆資料 2 : 堰・魚道 簡易改良等検討 資料
- ◆資料 3 : 上野遊水地 横断連続性再生検討 資料
- ◆資料 4 : 河道内樹林管理検討 資料
- ◆資料 5 : 河川環境再生目標の検討 資料
- ◆資料 6 : 平成 24 年度 フラッシュ放流・土砂還元について

## 【審議内容】

### (1) 研究会等の開催結果の確認

事務局より、今年度の研究会等の開催結果、今年度の研究会（第21回）、各ワーキングにおける指摘の確認と、その対応方針について説明を行った。

### (2) 堰・魚道 連続性再生に関する本年度検討結果

事務局より、堰・魚道 連続性再生に関する本年度検討結果について説明を行った。議事の内容は以下の通りであった。

- ・ やなせ宿で開催されたワークショップでは、どのような広報を行ったのか。一部の学校に限定するのではなく、ある程度の規則性をもって、広く広報することにより参加者も増えると考えられる。
- ・ アユ遡上実態については、今年度の結果からDNA分析が由来判別に十分利用できることが分かった。費用対効果を考えると、今後は耳石分析よりDNA分析を実施するのが有効と考えられる。

### (3) 上野遊水地 横断連続性再生に関する本年度検討結果

事務局より、上野遊水地の横断連続性再生に関する本年度検討結果について説明を行った。議事の内容は以下の通りであった。

- ・ 改良実施後には、生物多様性保全上の重要な環境となるため、地域連携による外来種対策を行っていくことも考えていくべきである。
- ・ 水田ビオトープを造成する際には、地元の活動団体等との連携促進につながる工夫(アクセス、通路、駐車スペース等)も必要である。

### (4) 河道内樹林管理検討に関する本年度検討結果

事務局より、河道内樹林管理に関する本年度検討結果について説明を行った。議事の内容は以下の通りであった。

- ・ タケ類の抑制試験により、岩倉地区の中段(掘削区)で再繁茂がみられなかったことは重要な結果であり、今後の対策の参考とすべきである。

### (5) 河川環境再生目標の検討結果

事務局より、河川環境再生目標に関する本年度検討結果について説明を行った。議事の内容は以下の通りであった。

- ・ 全国の河川で維持管理計画が作成されているが、木津川上流においても、これまでの検討成果を維持管理方針にとりまとめる段階にきたと考えており、今後の展開を期待したい。

### (6) 平成24年度 フラッシュ放流・土砂還元について

事務局より、平成24年度 フラッシュ放流・土砂還元に関する本年度検討結果について説明を行った。議事の内容は以下の通りであった。

- ・ 3ダム(比奈知ダム、青蓮寺ダム、室生ダム)のフラッシュ放流・土砂還元により、高山ダムに土砂が堆積する。今後は、高山ダムからのフラッシュ放流・土砂還元について検討していくことが重要である。

### (7) その他

事務局より、来年度の予定について説明を行った。

以 上